

◆「同時に行う省エネリフォーム＋耐震リフォーム」講習会（仮称）開催のご案内

省エネと耐震を“同時”に計画・施工することで、工期短縮、コスト最適化、不具合リスクの低減を実現する。

本講習会では、そのための実務ノウハウを、調査・設計・施工・検査の一連のプロセスとして体系的に解説します。

個別最適の寄せ集めになりがちな改修を、住まい全体の性能向上という視点で再構成し、限られた予算と工期の中で最大の効果を引き出す考え方を提示。特に断熱改修と耐震補強が干渉しやすい外皮・開口部・小屋裏・床周り・間仕切りなどの部分に焦点を当て、納まり・気密・防露の整合、補強位置の取り合い、施工順序の最適化といった、現場で迷いがちな論点を“できる手順”として紹介します。

講義の主な流れ

まず、インスペクションでは劣化状況・既存仕様・生活実態を丁寧に把握し、改修の優先順位と到達目標を明確化。

計画段階では、断熱仕様の選定と設備の整合、耐震診断結果に基づく補強計画、工区分けと仮住まい／住みながら工事の判断軸を具体化します。

施工では、基礎・外壁・屋根／天井・床・開口部といった各部の同時改修の勘所を、写真・図表で確認しながら、不具合の芽を事前に摘み取る段取りを共有します。

検査・引渡し後の運用までを含め、工事の品質を“見える化”する方法についても解説します。

制度・基準・支援情報も網羅

最新の制度・基準動向や関連支援情報にも触れ、助成金の活用、適合性の確認、説明責任の果たし方などを整理します。

初心者には用語と全体像を丁寧に解説し、経験者には更新ポイントと実務でつまずきやすいチェック項目を、それぞれ掴んでいただける構成です。

講義は事例ベースで進行し、明日からの提案・積算・工程調整に直結する“再現性の高い”知見をお持ち帰りいただけます。使用するテキストは当協会作成「同時に行う省エネリフォーム＋耐震リフォーム(案)」です。

主な内容

●インスペクションの重要性と手順

事前準備／現地調査のチェックポイント

●省エネリフォーム計画

断熱仕様の選定・住まい方の留意点・設備選定

●耐震リフォーム計画

診断の進め方・補強計画・干渉部の処理

●施工の要点

基礎／外壁／屋根・天井／間仕切り等の同時改修の組合せ

●事例紹介と質疑応答

※令和7年施行の改正建築物省エネ法の概要にも触れます。

期 間 2025年11月7日～2026年1月22日(全11会場)

時 間 各回 13:30～17:00(開場13:00) ※予定

対 象 ・会員工務店 ・設計者 ・現場管理者
・事務局職員(初心者歓迎)

定 員 各会場 40名(先着順)

テキスト 当協作成／配布
「同時に行う省エネリフォーム＋耐震リフォーム(案)」

刊行物のご案内（刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。）



マナーアップハンドブック 【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣への挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ （正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧になれます。）

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまなご相談（技術、法律、支援等）をお受けしております。

ホームページ（トップページの最下欄）のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp

JBN REPORT

全国工務店協会

10月号
Vol.108
2025



◆令和7年度 全国会員交流会2025 in 東京 御礼

先般開催いたしました「JBN全国会員交流会2025in東京」は、大盛況のうちに幕を閉じることができました。会員の皆様をはじめ、関係者や来賓の方々など約500名にお集まりいただき、改めて私たち全国の工務店のつながりの深さを確認する機会になりました。皆様のご尽力の賜物と深く感謝しております。

会員交流会は、私たちにとって非常に重要なイベントであり、皆様の協力とサポートがなければ実現できません。本大会での交流と議論は、私たちの組織にとって非常に有益であり、今後の活動に大いに役立つものと確信しています。

皆様のご意見やご提案は、私たちの成長と発展に寄与するものとして大変貴重です。どんな小さなアイデアやフィードバックでも歓迎いたしますので、お気軽にお寄せください。今後も一層の活動拡大と向上に努め、皆様にとって価値ある

メンバーシップを提供できるよう努力いたします。

参加の会員、関係機関の皆様、ご協力ありがとうございました。



次回 令和8年度 全国会員交流会

【開催日】2026年(令和8年)9月2日(水)、3日(木)

【開催場所】東京・ロイヤルパークホテル

今回は、上記にて開催を予定しています。東京会場で再びお会いできることを楽しみにしております。

会長あいさつ



一般社団法人 JBN・全国工務店協会
会長 安成 信次

歓迎あいさつ



全国交流会実行委員長
池田 浩和

特別講演



一般財団法人建築SDGs推進センター
理事長 伊香賀 俊治 様

特別講演



株式会社山辺構造設計事務所
取締役会長 山辺 豊彦 様

おしえて?ディスカッション



パネラー	尾崎 誠一 氏 (株)参創ハウテック
	高木 恭子 氏 (株)増木工務店
	関尾 英隆 氏 (株)あすなろ建築工房
	山辺 豊彦 氏 (株)山辺構造設計事務所
モデレーター	大菅 力 氏 フリーライター

懇親会

大野相談役の開会のあいさつで始まりました。

国土交通省住宅局住宅生産課長 前田亮様のあいさつの後、鏡開きを行い、林野庁長官 小坂善太郎様が乾杯のあいさつを行いました。

歓談の後、二宮副会長が中締めのあいさつを行いました。



関連事業者会員展示ブース

2日(火)正午より3日(水)午後3時30分まで、大会式典、分科会会場のホワイエおよびクラウンの間において、右記の事業者による出展と説明コーナーを設けました。



1 株式会社コンクルー	18 株式会社日本住宅保証検査機構
2 セーフィー株式会社	19 RX Japan株式会社
3 タカヤマ金属工業株式会社	20 一般社団法人住宅生産団体連合会
4 株式会社スパーク	21 ショウタイム24株式会社
5 ユダ木工株式会社	22 株式会社住宅あんしん保証
6 株式会社デコス	23 株式会社ARC style
7 株式会社エイジ・プロモーション	24 株式会社MXエンジニアリング
8 株式会社ダイテック	25 エコジオ工法協会
8 福井コンピュータアーキテクト株式会社	26 河村電器販売株式会社
9 株式会社エフ・ディー・シー	27 協立エアテック株式会社
10 一般社団法人日本住宅基礎鉄筋工業会	28 日本ボレイト株式会社
11 旭ファイバーグラス株式会社	29 株式会社リブ・コンサルティング
12 株式会社アンドパッド	30 モカウッドジャパン株式会社
13 株式会社コンベックス	31 アットホーム株式会社
14 株式会社カナメ	32 ピクトグラム株式会社
15 SMRC株式会社	33 スマートソーラー株式会社
16 FREEDOM X株式会社	34 NPO法人環境共棲住宅 地球の会
17 ジャパンホームシールド株式会社	35 株式会社ヤマシタ

分科会

8分科会に分かれ、各テーマごとにゲストコメンテーターによる基調講演や委員会メンバー、関係者による討論が展開されました。

いずれの会場でも事例に基づく具体的な実務ベースの意見交換が中心で、会場からの質疑応答も活発に行われました。



工務店紹介

Introduction of construction companies

愛知県一宮市にある、1998年設立のエコ建築工房。新築は年間約30棟を手掛けるほか、近年はリフォームや店舗建築でも受注を伸ばしています。

現在社長を務めるのは、2代目の喜多さん。元々は自動車関連業界の営業マンでしたが、2017年に先代から経営を引き継ぎ、この8年で社員数は10人から60人に、また年商も2.4倍になるなど規模を拡大させてきました。

会社設立当初から、同社では国産材や自然素材を多用した高品質な家づくりをしてきました。しかし、その強みを十分に訴求できていないことを課題に感じていた喜多さんは、社長就任後にマーケティングの強化に乗り出します。「勝負するロケーションを変えたい」

「健やかな暮らし」を支える家づくり 展示場と複合施設で集客拡大

株式会社 エコ建築工房

喜多 茂樹 社長



という思いのもと、まず行ったのは住宅展示場への出展。大手メーカーと競合する、一見不利にも思える挑戦でしたが、結果的には同社の「家そのものの質の高さ」が際立ち、現在ひと月の来場者数は約80組。ハウスメーカーを検討していた顧客層を取り込み、平均単価のアップも実現しました。

現在集客のもう1つの柱となっているのが、2021年に本社の敷地に開設した複合施設「econos」。モデルハウスのほか、木のぬくもりを感じられる子どもの遊び場などを展開し、年間約3万人が訪れる人気スポットになっています。

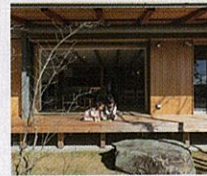
同社で家を建てたことをきっかけに入社した社員が2割を占めるという強みを生かし、モデルハウスでは彼らが「住み

心地アドバイザー」として対応。見学者と同じ目線でアドバイスを受けられることが好評で、こちらのモデルハウスでも月70組程度の来場を達成しています。

喜多さんの次の目標は、地域の地主から託された土地を活用した「森づくり」。国産材にこだわった家づくりを続けてきたからこそ、「五感で木の良さを感じられる場をつくりたい」と話します。

数々の戦略を推進しながらも、その基盤はあくまでも良質な家づくり。企業理念である「健やかな暮らし」の実現に向け、今後も挑戦が続きます。

▶econos内のモデルハウス「くほんの家」。過去に住宅展示場に建っていた住宅を移設した。



関連事業者紹介

Introduction of related businesses

建設資材の価格調査・情報発信を基幹業務とする経済調査会。資材価格や工事費、需給状況などに関する全国調査の結果を掲載した「月刊積算資料」は、公共工事の積算に欠かせない基礎資料として利用されています。

住宅業界に向けては、新築やリフォーム等の工種別の工事費・材料費、設計・見積り実例などを掲載した「積算資料ポケット版シリーズ」を発刊。JBN会員も編集委員として企画段階から携わっており、工務店や設計事務所で広く活用されています。

来年には創立80周年を迎え、長年「公共工事における価格調査の専門機関」としての地位を確立してきた同会ですが、住宅業界にも価格情報を発信する

価格調査の専門機関として 住宅市場に新たな指標を提供

一般財団法人 経済調査会

武田 裕三 さん



意義について、出版事業部・企画調査室長の武田さんは次のように話します。「住宅建築に関する価格には公的な指標がなく、競合と比較して高い・安いという議論になりがちです。しかし、『価格の妥当性』という点では疑問符が付きます。ポケット版シリーズは市場価格の実態を反映したのですが、価格の妥当性を施主に説明する際に、この本を1つの物差しとして活用していたことで、施主からの信頼を深める一助になればと思っています」

昨年5月には、過去17年の木造住宅建築費用の推移を指数化した、「木造住宅建築費指数」をウェブで公開。

この資料では、過去17年で木造住宅の建築費用が1.4倍にもなっていること

が示されています。武田さんは「材料費の高騰を見積りに転嫁できずに困っている事業者さんも多い。この指数があれば、費用上昇を施主に客観的に伝えることができ、値上げを理解してもらうための根拠になるのでは」と話し、今後はリフォーム市場における指数の公開も予定しています。

さらに同会では、先ごろ国土交通省が実施方針をまとめ、JBN会員も協力する「住宅分野の標準労務費の作成」における歩掛り調査も担当。「価格」の側面から、今後も住宅分野の健全な発展を支える取り組みを推進します。

▶「木造住宅建築費指数」は、同会の運営するサイト「積算資料ポケット版WEB」で確認できる。

